



TANAKA ENGINEERING CORPORATION

株式会社 田中工務店

## 2021年度 環境経営レポート

(対象期間:2021年10月~2022年9月)



発行日:2023年1月27日

改定日:2023年2月28日

□ごあいさつ

株式会社田中工務店は、昭和58年の設立以来、建設工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。

全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

株式会社田中工務店は、日本の風土と建築物の共存を目指し、様々な事業内容において、定期的に課題とチャンスを明確化し、環境に配慮した施工方法、電気・水道等のエネルギー消費を出来る限り抑えた活動を推進し、リサイクルに努め、環境に配慮した建設会社としてエコ社会に貢献します。

### <環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守する。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進する。
3. 廃棄物の削減及び再生利用を推進する。
4. 建設リサイクル、再生資源の利用を推進します。
5. 水使用量の削減を推進する。
6. 環境に配慮した施工方法を取り入れる。
7. 化学物質の適正管理を推進する。
8. 本方針を全従業員に周知し、環境保全に関する意識を高め、継続的改善を進めると共に社外に公表します。

制定日：2013年 3月 31日  
改定日：2020年 10月 14日

代表取締役社長 **田中 政教**

## □組織の概要

### (1) 名称及び代表者名

株式会社 田中工務店  
代表取締役 田中 政教

### (2) 所在地

本社 : 〒669-5212 兵庫県朝来市和田山町柳原188番地  
本社工場 : 〒669-5212 兵庫県朝来市和田山町柳原219番地  
丹波営業所 : 〒669-4141 兵庫県丹波市春日町黒井759-3

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 : 専務 田中 浩 TEL:079-672-2619  
担当者 : 事務部 中井 和成 TEL:079-672-2619  
E-Mail : nakai@tanaka-net.jp

### (4) 事業内容

土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、  
造園工事業、水道工事業、森林整備業、宅地建物取引業

許可番号 兵庫県 第600622号 許可年月日 令和2年12月28日  
許可期限 令和7年12月27日

### (5) 事業の規模

設立年月日 : 昭和58年10月1日  
資本金 : 2千万円  
売上高 : 705百万円 (2021年度実績)

#### 各事業所の規模

	本社	営業所	本社工場	合計
		丹波営業所		
従業員	15名	2名	10名	27名
延床面積	240m <sup>2</sup>	38m <sup>2</sup>	817m <sup>2</sup>	1,095m <sup>2</sup>

※工場は、常時作業員がいる状況でないため無人の場合有り。

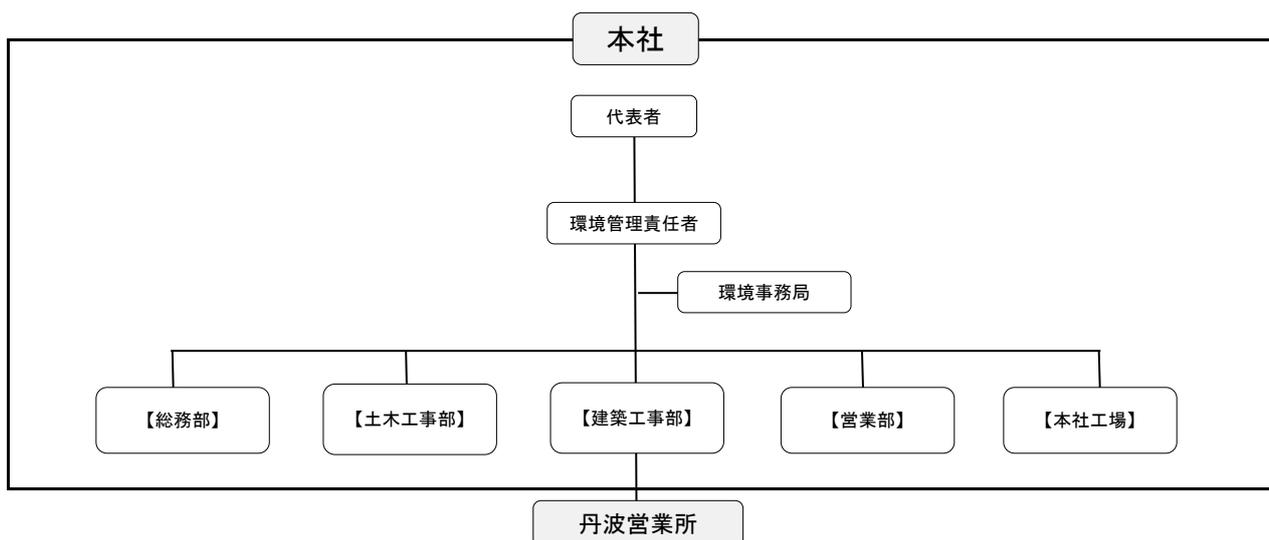
### (6) 事業年度

10月1日～9月30日

## □認証・登録の対象範囲

登録組織名 : 株式会社田中工務店  
対象事業所 : 本社、本社工場、丹波営業所  
事業活動 : 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、  
舗装工事業、造園工事業、水道工事業、  
森林整備業、宅地建物取引業

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



役割・責任・権限	
代表者 社長	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>代表者による経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者 専務取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理、</li> <li>環境関連法規制等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの承認</li> <li>部門長、全従業員に対する「環境教育の実施管理」</li> </ul>
環境事務局 総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施、環境管理責任者への報告</li> <li>特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む）</li> <li>環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
部門長 土木工事事務部 建築工事事務部 営業部 本社工場 丹波営業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の運用管理</li> <li>緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
工事責任者 現場代理人	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設現場における環境経営システムの実施</li> <li>工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施</li> <li>建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>緊急事態対応訓練の実施、記録の作成</li> <li>建設現場での問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## □主な環境負荷の実績

(※環境負荷自己チェックより 前々年度～今年度)

項目	使用量・排出量			単位	二酸化炭素排出量		
	2019年度	2020年度	2021年度		2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素排出量合計				kg-CO <sub>2</sub>	172,366	175,403	172,441
電力(kWh)	35,172	39,417	39,858	kg-CO <sub>2</sub>	17,340	19,433	12,675
ガソリン(L)	30,710	30,494	28,994	kg-CO <sub>2</sub>	71,299	70,795	67,315
灯油(L)	440	462	597	kg-CO <sub>2</sub>	1,096	1,151	1,488
軽油(L)	30,098	29,999	32,357	kg-CO <sub>2</sub>	78,987	78,728	84,916
LPG(kg)	1,214	1,768	2,015	kg-CO <sub>2</sub>	3,643	5,297	6,047
水(m <sup>3</sup> )	適正管理	適正管理	適正管理				
化学物質(t)	適正管理	適正管理	適正管理				
廃棄物排出量(t)	886	1,707	265				
一般廃棄物(t)	2.3	3.5	3.2				
産業廃棄物(t)	883.7	1703.2	261.9				

## □環境経営目標及びその実績

### (1) 新中長期環境経営目標

目標の理由：目標を立てる事により、1人1人が心掛け、二酸化炭素削減に取組み、達成を目指す。

項目	年度	基準年度	2022年度	2023年度	2024年度
		2021年度			
二酸化炭素 排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	172,441	170,717	168,992	167,268
	対基準		△1%	△2%	△3%
電力 (事務所・現場) 使用量削減	kWh	39,858	39,459	39,061	38,662
	kg-CO <sub>2</sub>	12,675	12,548	12,421	12,295
	対基準		△1%	△2%	△3%
ガソリン (事務所・現場) 使用量削減	L	28,994	28,704	28,414	28,125
	kg-CO <sub>2</sub>	67,315	66,642	65,969	65,296
	対基準		△1%	△2%	△3%
灯油 (事務所・現場) 使用量削減	L	597	591	585	579
	kg-CO <sub>2</sub>	1,488	1,473	1,458	1,443
	対基準		△1%	△2%	△3%
軽油 (現場) 使用量削減	L	32,357	32,034	31,710	31,386
	kg-CO <sub>2</sub>	84,916	84,067	83,218	82,369
	対基準		△1%	△2%	△3%
LPG (本社・現場) 使用量削減	kg	2,015	1,994	1,974	1,954
	kg-CO <sub>2</sub>	6,047	5,987	5,926	5,866
	対基準		△1%	△2%	△3%
廃棄物 排出量合計	t	265.1	262.5	259.8	257.2
	対基準		△1%	△2%	△3%
一般廃棄物 排出量削減	t	3.2	3.2	3.2	3.1
	対基準		△1%	△2%	△3%
産業廃棄物 排出量削減	t	261.9	259.3	256.6	254.0
	対基準		△1%	△2%	△3%
建設リサイクル率の 向上	%	95%	96%	97%	98%
	対基準		+0.7%	+1.7%	+2.7%
環境に配慮した 施工方法の採り入れ	件	8	9	10	11
	対基準		+1	+2	+3
水(事務所・その他)の 適正管理	-	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
	対基準	-	-	-	-
化学物質の 適正管理	-	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
	対基準	-	-	-	-

注1) 電力の二酸化炭素排出量への調整後排出係数は、2020年度関西電力(株)公表の、0.318kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。

注2) 中長期目標は、2021年度を基準年度として目標再設定した。

※水適正管理：毎年度の使用量が少なく増減がほぼ無い為、数値目標を設定しない。  
(水道・下水道 各200m<sup>3</sup>以下)

※化学物質適正管理：ほう酸塩が成分のほう素化合物「エコボロン」。

シロアリ・木材防朽菌に有効で、必要量のみ都度購入している。

## (2)2021年度の実績

評価欄 ○：達成、×：未達成

項目	年度	2020年度 基準年度	2021年度 (10月1日～9月30日)			
			目標	実績	達成度	評価
二酸化炭素 排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	175,403	173,649	172,441	100.7%	○
	対基準		-1%	-1.7%		
電力 (事務所・現場) 使用量削減	kWh	39,417	39,023	39,858	97.9%	×
	kg-CO <sub>2</sub>	12,535	12,409	12,675		
ガソリン (事務所・現場) 使用量削減	L	30,494	30,189	28,994	104.1%	○
	kg-CO <sub>2</sub>	70,797	70,089	67,315		
灯油 (本社・現場) 使用量削減	L	462	457	597	76.6%	×
	kg-CO <sub>2</sub>	1,151	1,140	1,488		
軽油 (現場) 使用量削減	L	29,999	29,699	32,357	91.8%	×
	kg-CO <sub>2</sub>	78,728	77,940	84,916		
LPG (事務所・現場) 使用量削減	kg	1,768	1,750	2,015	86.9%	×
	kg-CO <sub>2</sub>	5,307	5,254	6,047		
廃棄物 排出量合計	t	1,706.8	1,689.7	265.1	637.3%	○
	対基準		-1%	-84.5%		
一般廃棄物 排出量削減	t	3.54	3.5	3.2	108.2%	○
	対基準		-1%	-8.5%		
産業廃棄物 排出量削減	t	1,703.2	1,686.2	261.9	643.9%	○
	対基準		-1%	-84.6%		
建設リサイクル率の 向上	%	100.0%	100%	96%	96.0%	○
	対基準		±0%	-4.0%		
環境に配慮した 施工方法の採り入れ	件	3	4	8	200.0%	○
	対基準		+1	+5		
水(事務所・その他)の 適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理	取組良好	○
	対基準	—	—	—		
化学物質の 適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理	取組良好	○
	対基準	—	—	—		

※各目標の達成・未達成：工事内容や現場場所により、基準年度と今年度に差が出ます。

※達成度の計算式：削減目標の場合は、目標/実績×100%。向上目標(環境に配慮した施工方法の採り入れ)の場合は、実績/目標×100%。

※実績対基準の計算式：((実績/基準)-1)×100%

※建設リサイクル率の2021年度実績(産業廃棄物のみ)=再資源化量(251.47 t)/総排出量(261.88 t)

# □環境経営計画の取組結果とその評価、並びに次年度の取組内容

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

## ■二酸化炭素排出量の削減■

電力使用量の削減	達成状況	次年度の取組内容
・空調温度の適正化(冷房28℃暖房20℃)	◎	過度の冷暖房に頼らず、服装で調整する。
・不要照明の消灯	◎	階段での消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。
・設備の空転禁止	○	昼休み等の長時間はもちろん、こまめに入・切の操作をする。

大幅達成・未達成理由：

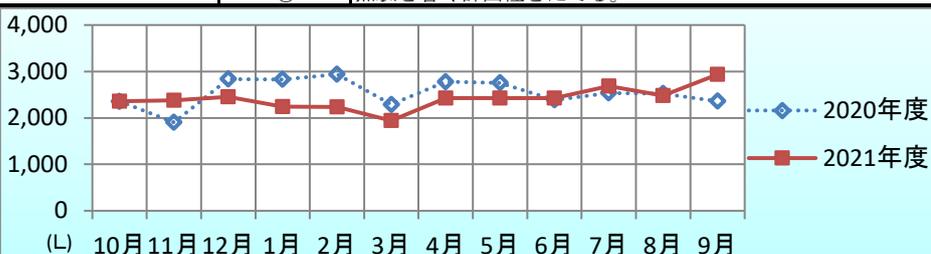
-



ガソリン使用量の削減	達成状況	次年度の取組内容
・不要なアイドリングストップ	○	引き続きエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	◎	普段より安全運転を心がける。
・効率的な移動	○	無駄を省く計画性をたてる。

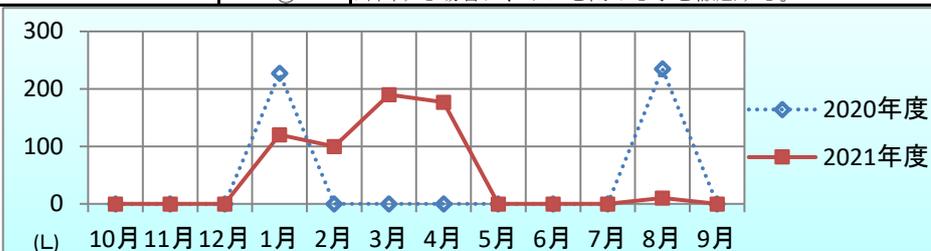
大幅達成・未達成理由：

-



灯油使用量の削減	達成状況	次年度の取組内容
・ストーブの使用基準の作成	◎	不在時の消火の管理を徹底する。
・室温管理(20℃を基準)	○	更に省エネ意識を持たせ、無駄な使用を無くしていく。
・部屋開放の禁止	◎	外出する場合は、ドアを閉める事を徹底する。

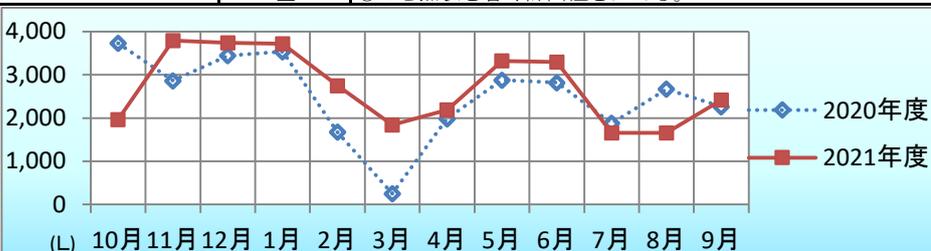
大幅達成・未達成理由：  
工事の件数・遠方による



軽油使用量の削減	達成状況	次年度の取組内容
・不要なアイドリングストップ	○	引き続きエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	◎	普段より安全運転を心がける。
・効率的な移動	△	もっと無駄を省く計画性をたてる。

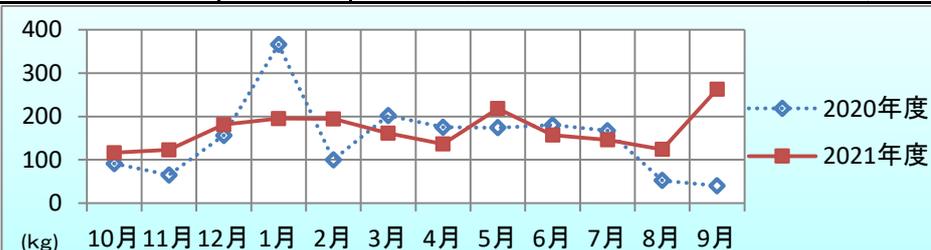
大幅達成・未達成理由：

-



LPG使用量の削減	達成状況	次年度の取組内容
・効率的な使用を心がける	○	作業工程を効率的に行い不使用時には早めに消火する。

大幅達成・未達成理由：  
工事の件数・遠方による

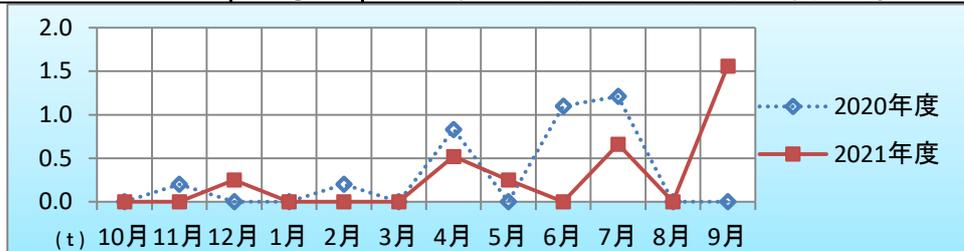


■ 廃棄物排出量の削減 ■

一般廃棄物の削減	達成状況	次年度の取組内容
・カタログ類を少なくする	○	カタログ類の請求を出来る限りネット利用に変更する。

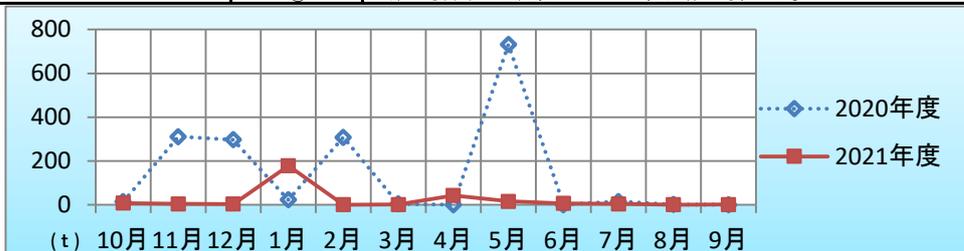
大幅達成・未達成理由：

-



産業廃棄物の削減	達成状況	次年度の取組内容
・分別解体徹底	○	分別解体の徹底。
・来年度以降の目標設定	○	正確な排出量を把握しながら、削減に努める。

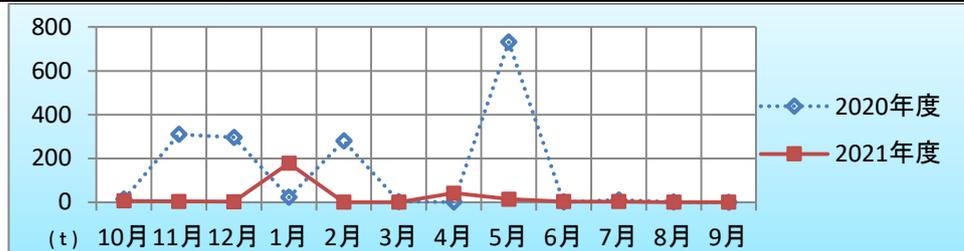
目標達成結果：  
工事の件数・遠方による



建設リサイクルの向上	達成状況	次年度の取組内容
・建設リサイクル率&化学物質の適正管理	○	前年度を基準値として、向上目標を設定して下記の取組を推進してリサイクル率の向上を図る。
・木くず・段ボール等リサイクルを推進する。	◎	木くずはチップ・肥料等又、段ボールなどもリサイクル業者へ納入する。
・コンクリート殻、アスファルト殻等リサイクルを推進する。	○	リサイクル業者にすべて搬出する。

目標達成結果：

-



■ 環境に配慮した施工方法の取入れ (SDG s の取組) ■

環境に配慮した施工方法の取入れ	達成状況	次年度の取組内容
・工事分野別の技術	○	長期優良住宅の推進
・ノウハウの収集	○	WB工法の住宅推進

■ 水道水の適正管理 ■

水道水の適正管理	達成状況	次年度の取組内容
・洗車時、不必要な水の垂れ流し禁止	○	適正量の使用
・洗い物は時間を決めてまとめて洗う	○	

■ 化学物質の適正管理 ■

化学物質の適正管理	達成状況	次年度の取組内容
・SDS、取説に準拠して防蟻剤の適正管理実施	○	適正量の使用
	○	保管管理
	○	環境への拡散防止等により適正管理

## □環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	遵守する事項	評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
騒音規制法 朝来市公害防止条例	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法 朝来市公害防止条例	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建築基準法	シックハウス対策、クロロピリホスの使用禁止、石綿使用禁止	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止	遵守
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出、作業基準の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用点検整備、適正燃料使用	遵守
消防法	消火設備・火災警報設備の点検整備、	遵守
フロン排出抑制法	設置環境・使用環境の維持保全、定期点検	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は3年間遵守されていることを確認しました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘はありませんでした。

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

この取組を始めて9年目となりました。  
 工事内容や距離により、灯油、軽油、LPGの目標達成にはなりませんでしたが、廃棄物(一般・産廃)の量は、昨年度と大差がありますが、原単位管理では、特に無駄な廃棄物はありません。再生資材の利用推進、分別を徹底するよう指示をしています。  
 環境に配慮した施工の知識をつけ、皆様に推進しています。  
 環境活動内容について再確認し啓発を続け、SDGsに取り組んでいきます。

なお、環境経営方針・目標・計画及び実施体制について変更はしません。

2023年1月27日  
 株式会社田中工務店  
 代表取締役 田中 政教

## □環境活動の紹介(環境配慮の施工)



蓄熱暖房



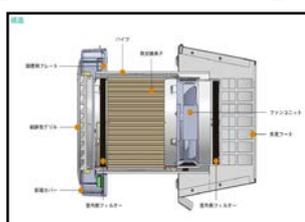
高気密高断熱仕様



公園の景観に配慮□



太陽光発電



ダクトレス第一種熱交換式換気システム(室内空気環境改善)

< SDGs 活動関連項目 >

⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに	・ 森林伐採
⑪ 住み続けられるまちづくりを	・ プロジェクト使用の会議
⑫ つくる責任 つかう責任	・ スカイブ
⑬ 気候変動に具体的な対策を	・ スーパーウォール(ヒート20G1)勉強会
⑮ 陸の豊かさを守ろう	・ コンポスト
	・ 木枝落葉を防草チップ化